



吾輩は「なんだす」である!?

僕の名前は「なんだす」。でも、最近みんな僕のことを「なんだす」って呼ぶんだ。だから好きな方で呼んでくれたらいいよ!!

まだ僕が生まれたての子猫だった18年くらい前、尼崎の薬局の壁の中に挟まって動けなくなっていたところをシオヤ薬局(当時)の近江のおっちゃんがコンセントの穴から助けてくれたの。そのまま尼崎から塩屋にやってきたんだけど、残念ながらおっちゃんの家では飼えないって家族に言われたらしくて、喫茶こまどりのおっちゃんが僕を家族に迎えてくれたんだ。まだ名前が無かった僕に、その時喫茶店で流行っていたギャグ「なんだすって!?!」から、喫茶店のおっちゃん達が「なんだす」って名前を付けてくれたんだ。こまどりはなくなっちゃって本当に悲しいけれど、僕はここが大好きだからずっと離れられなくて…。そんな僕を、通りかかる塩屋のみんなが心配してくれたり、可愛がってくれたりしてくれたから、おじいちゃんになっても元気にいまも路地で日向ぼっこしているよ!

のんびり過ごしているからそっと見守ってね。

塩屋のなんだすが全国区に!?

動物写真家、岩合光昭さんがなんだすを撮影に来られました。その様様が2/22(猫の日!) 22時 NHK-BSプレミアムで放送されます。「岩合光昭の世界ネコ歩き」はNHKオンデマンドでアーカイブもご覧いただけますので、塩屋の風景と共に楽しみてください。



NHK オンデマンド
「岩合光昭の世界ネコ歩き」



塩屋的商店探訪 vol.2

理容キタガワ キタガワに集う人々

文=サラ・デュルト

開店している時は大抵賑わっている。用がなくとも足しげく通っている老若男女がいる。気候のいい時期には外の喫煙席と向かいの店先のテーブルと椅子のスペースで地元の人たちのおしゃべりがくりひろげられている。それは、昔の塩屋を知る人たちには、かつて数歩先の相生橋の欄干が腰掛けやすい高さで人が集まる場所になっていた時分を彷彿とさせたりもするらしい。かたや夜に店の前を通り過ぎざま窓越しに目をやると、小さな子どもたちが理容椅子に座って子犬のように戯れていたりに驚かされたりもする。この場所の吸引力は何なのか、ずっと探ってみたかった。

1月7日(金)午後、正月休み明け二日目の理容室は暖かく居心地がよかった。連れて行った小4男児はすぐに待合のソファで漫画に没頭しはじめる。この、予約のできない理容室は、常に賑わっていて、へたすると散髪に放り込んでから3時間経っても帰って来ないこともある。小学生ははじめのうちは大抵、ジョークガム(すすめられるままにガムを一枚引き出そうとすると指が挟まれる古典的ないたずら玩具)やゴムのゴキブリやムカデでいじられるといった通過儀礼があるようだが、間断なく漫画を読み続けられる透明小窓付きのケープを被って理容椅子に座って髪を切ってもらい、しばらくしたら、さっぱりした頭でお菓子をポケットにつめこんで帰ってくる。間違いなく、子どもの心をつかむすべを心得ている。小学生の散髪にも「顔そり」がついてくるのはご愛嬌。

今日の客層は若く、3台ある理容椅子の一つに座るAさんは店主のYさん、店員のSさんとは古くからの顔なじみ。待合のソファには夜勤帰りのBさん。彼は今日髪を切る予定はないらしい。

家に帰る前に、よく立ち寄るという。「キタガワ歴5年ぐらい」でまだ浅い方だというBさんは、散髪に訪れた際に勧められた馬券が大当たりして「大好きな趣味が増え」、今や店主と同じように一口馬主にもなっている。「(キタガワには)修行に来ている。ここには達人がいっぱいいるから。」

店主と同世代では、幼小中高の同級生Kさんはほぼ毎日絶対来るから「こんかったらどないしとんやろて思う。三日見んかったら何しとんやろかと心配になる。」と言うくらいで、毎日何度となくふらりとお店を訪れる人も多い。Kさんいわく、しばらく顔を見せてないと「せんどぶり!」と歓迎されるそう。(せんどぶりというのはひさしぶりの播州弁。キタガワの明石方言番付表西の横綱。上の写真の左上に写っている。)

店主のお母さんが店を切り盛りしていた頃から、近所の八百屋のおっちゃんが一日に何回も来ていた。今も昔も配達前後の待機場所として機能している。日々生活を送る上での通過点、ふっと息抜きをする場所なのだろう。

最近新しいのは、店の中ではないが、外の看板のまわりで写真を撮っていく人が増えたこと。コロナのためか、近場のまち歩きが増えている。塩屋散歩といでにくる回る床屋のサイン看板の横でポーズをして撮っていく。昭和レトロな「町の理容室」の構えが“映え”るのだろう。中には話しかけてくる人も。何を置いても「話がしやすい」のも人が入り浸る理由のひとつ。店内にはカレンダーが5つ(阪神タイガース、兵庫県警、信用金庫、馬、競馬)時計が3つ(店に入って正面に一つ、鏡に映って正しく見える理容室の時計も)、有名人のサイン、野球選手の写真、交流のある画家の絵、子どもの描いた絵、……、壁に掛けられ

理容キタガワ

住所：神戸市垂水区塩屋町3丁目8-1

電話番号：078-751-7638

営業時間：平日9:00～20:00頃 土・日・祝 8:30～19:30頃

定休日：毎週月曜、第2・3月火連休

たもの一つ一つにストーリーがある。草野球からゴルフ、釣り、競馬、ひいては馬主となるまで趣味の範囲の広い気さくな店主の性格に拠るところが大きい。確かな理容の技術に加え、来る者を拒まず、話を聞いてくれ、適度な距離感で接してくれる店主のおおらかさは塩屋の駅前商店街の真ん中で育ったことで自然に身に付いたものなのだろうか。子どもの頃、親の仕事が忙しく、家に一人でいてもつまらないので向かいの電気屋に入り浸っていた。今、同じようにビザ屋の子どもたちが店主やSさんのスマホでゲームをしに来るといふ。夕食の営業が終わる20時頃までいるので、軽食を出すこともあるとか。夜通りかかったときに見かけたのはその光景だったのか。塩屋カルタの「子育ては商店街で放し飼い」の読み札にもある伝統(?)を地で行っているな、と思ったら、SさんやAさんも、放課後は豆腐屋のおっちゃんの車に乗せてもらっていた、などと子どもの頃の思い出を話し始める。もちつもたれつな商店主たちの関係は聞いているだけで心温まる。でもそれが「ふつうのこと」。近所のおじいさんも店に入って座っていて、しばらくして帰ったりもする。あ、今日は散髪じゃなかったんや、と思う。別にそれでいい。暖をとりに、涼を求めて、雑談をしに、様子見に、みんなで競馬観戦に、趣味を極めに、遊びに、相談に、ただ「ふつうに」キタガワを訪れる。

キタガワに集う人々は、キタガワがなくなったら「行くとこなくなる」と声を揃える。用がなくても心広く迎えてくれる。「ここに来たら何かしらご縁がある」というBさんの言葉が胸に落ちた。散髪屋だけに、間違いなく「カミ」いるね。



塩屋商店会

塩屋谷川のクリスマス・イリュミネーションはご覧いただけましたか?サンタやトナカイ、青いLEDに、今年は漁火風の灯りも加わりました。寒さに肩をすぼめて路地を出て、光が点っていると少しうれしい。塩屋小学校のトンど焼きも今年は2年ぶりに実施され、今年の干支、トラのような形に炎が上がったうえ、燃えきった櫓は恵方に向けて倒れたそう(八百屋にとまとの写真を見てね)。今年はいいいことあるかも?!

発行元：一般社団法人塩屋商店会
神戸市垂水区塩屋町3-6-15
078-767-9408 www.nice-shioya.jp
shioya.syotenkai@gmail.com
塩屋商店会の発行する新聞です。
記事へのご感想、ご意見お待ちしております。

みにとまとサーワーキーの
今月の一枚
「ワンルームマンション」



大震災のとき塩屋商店会は

文＝松本徹



その瞬間、商店会の面々は前夜の宴会の余韻に浸ったまま眠っていました。いつもは宴会の盛上げを買って出るKちゃんは、どうしたのか咳と鼻水で早々に引上げて伏せていました。私は同部屋だったので仕方なく付き合って寝ることに。その横で咳と鼻をかむ音は止むことなく続いていました。

鉄筋コンクリートの建物が何の前触れもなく激しく揺れたのは未だ夜が明けきらない頃でした。これはえらいことになっているのじゃないか？ 反射的にTVのスイッチを入れると放送はまだ始まっておらず、しばらくして「先ほど地震がありました。震源は京都北部の模様」と、テロップが流れました。京都の地震でこない揺れるんやったら神戸はどうやらか。大分時間が経って音声が入り「地震の震源は淡路島北部の模様」と訂正されましたが、画面はそのまま京都の日本海側に震源を示す「X」が入ったままでした。

淡路の北部が震源となると神戸は直撃に近いのではと直感されたが、情報が全く入って来ないため、不安が募るばかりでした。ようやくNHKの職員と連絡が取れたようで、その人が住む灘の渦森台からの電話中継がなされました。「こちらからは何も変わった様子は見られません。神戸の町はいつもの通り静かです」と。

NHK神戸放送局の内部が自動カメラによって映し出されたのはすっかり夜が明けてからだったと思います。後に「阪神淡路大震災」と名付けられる震災の被害の全容が明らかになるのはずっと後のことでした。

TVにかじりついていても仕方ないので、風呂にも入ってこようと部屋を出ました。

もじひろい しおやさんぽを終えて

11月の丸一ヶ月間、塩屋の町を「もじひろい」の台紙を片手に歩く人がいつになく多かったような。今年は商店会の店舗にご協力いただき「しおやカルタ」のパネルをまちのあちらこちらに掲示できたので、文字を拾うだけでなく、歩いてと目に入るカルタの文章や絵を拾って回る楽しさも増えたのでは？

しおやカルタを使った台紙には大小の反響があって、中でも、塩屋小学校の先生が2年生の教材として使いたい！と言ってくださったのは嬉しかったです。一方で、残念なことに、川べりの掲示板に貼っていた「ゆうゆうと 塩屋谷川 こいのぼり」のパネルが失われてしまいました。鯉のぼりだけに、川に流れてしまったのか？！ どこかで見かけたよ！という情報があれば、商店会事務局まで。



バンブー土井の塩屋さんぽ vol.3

塩屋谷川にかかる民部谷橋のたもとで T シャツなどのプリントを手がける
オリジナルプリント工房バンブーの土井さんはお散歩が大好き。

塩屋は明治頃から、景観豊かな山側から海を見下ろすように邸宅や別荘が建てられ、日本人実業家、また外国人も多く生活をさせてきたため、あちこちに洋館が残っています。

駅を降りて西の山側に少し歩くと、外国人住宅地（昭和初期に英国人貿易商ジェームス氏が整備した「ジェームス山」※住人以外の立ち入りはできません）があり、現在周辺のマンションや商業施設も「ジェームス山」と名乗る由来になっています。またジェームス山の外国人の御用聞きが塩屋商店街の原型とされています。

近隣には塩屋カントリークラブ（※レストランのみ一般開放されています）があったり、出入口にライオン像があり、異国情緒を感じます。その横には、それ以前から地元でまつられていた「岩船不動明王」（元々ジェームス山がある地は大きな寺院のあった場所とのこと）の石仏があり、この地の歴史に触れます。

近くのジェームス邸はじめ、この近辺は昔から映画等の撮影でも使われている場所で、1963年公開の映画「夜霧のブルース」では石原裕次郎と浅丘ルリ子がこの坂を下りていきます。下町感が温かい駅前周辺とはまた少し違うテイストの、和洋が混じり合う塩屋を見ることが出来ます。

春になると、この上の坂道は桜がとても綺麗ですので、のんびりお散歩されてみてはいかがでしょうか。

（Instagram アカUNT erinadai「#しおやさんぽ」で案内中）

塩屋古着黄金期到来！？

小さな塩屋の町に現在3軒の古着店が営業中。個性豊かなそれぞれの店主に「春に向けてのおすすめの一着」を選んで貰いました。

古着はいわば一点もので一期一会。紹介しているお洋服もタイミングによって次のユーザーのもとへ旅立っている可能性もありますのでご了承ください。

① leao.（ロストバードズ） サテンのジャケッツ

古着らしいポップな柄で塩屋の町に意外となじむと思うんです。パツと見た印象は派手ですが、羽織るとしっくりなじみますし、薄手で年中活躍できる一枚ですよ。

貴伝名Tシャツもチェックしに来てねー！



② tana ハニカムガウン

イタリア製。医療系の方が使っていたものを後染めして普段使いしやすいカラーになっています。レトロワンプに合わせても、デニムに合わせてもオールマイティーに決まります。

これからワイルドなミリタリーにアースカラーを組み合わせたような初心者にも挑戦しやすいラインナップを充実させていきます。

同じ塩屋商店会・道後温泉親睦旅行の早起きの女性たちが風呂に行くのに出会ったので、地震の話をしたが「冗談を言って」と誰もとおりあってくれません。TVを見て、ただけ言い置いて、風呂に浸かりました。

そろそろ起きてくるメンバーが増えてきたのと地震の事実が知れてきたので、宴会疲れの男性陣を起こして回ることにしました。にわかには信じることが出来ない様子でしたが、こちらの真剣な態度とTVの報道が動き出したので信じてもらえるようになりました。旅行社の添乗員を交えて現地三役会を開き、状況の把握とこれからの行動を話し合いました。

ツアーの参加者には、予定していた観光のキャンセルと帰路の出発時間を早めること、判る範囲の情報を説明し、了承を得ました。携帯電話が普及していない頃で、家や店がどうなっているか、みんなの一番の心配事は何もわからないまま、とにかく塩屋に帰ろう、と。瀬戸大橋を渡って帰ろうとするのですが、渋滞で進みません。中ほどの与島サービスエリアからはさらに渋滞でした。この頃になって家が塩屋以外の人で連絡がついたり、一人だけ建築関係の人が携帯を持っていて周辺の状況が知れてきました。八百屋のMちゃんが倒壊した家の中で救出を待っているとか。

やっとの思いで大橋を通り抜けましたが、高速道路は使えず国道2号をひたすら走るが、被害はどこにも見えない。バスの車内のTVで震災の様子を見ていましたが、塩屋の状況が映されることもないし、厳しい事実が知れてくると身内の人が心配してはとTVを切りました。帰っても食料がないかもしれな

いからと、姫路の量販店で土産物の替わりの買い出しを行いました。

バスが高砂あたりを通過するころから屋根にビニールシートをかけている家がちらほら目に付くようになりました。状況がガラリと変わったのは福田川に差し掛かってからです。バスはおろかすべての車が遮断されていました。塩屋で家屋倒壊があり、ガスが充満していると。塩屋を目前にして福田川を北上し青山台を通って塩屋に入ろうとしましたが、途中で断念し、県の自治研修所の西側でバスを降り解散。時すでに22時、13時間のバスの旅でした。ここからそれぞれに重い荷物を引きずって帰りました。大工のOさんは、家に戻らず家とは反対方向の顧客の家が気がかりなのでと徒歩で向かわれました。Oさんはその後に震災復旧による過労が原因とみられる事故で亡くられています。

帰ってから国道筋を見ると両側から国道に向かって家が倒壊し、数百メートルの長さでした。その中に商店会員の店舗兼住宅があり、寝ていた家人は国道に投げ出されたあとにお聞きしました。商店会の中壊店舗（家屋）は5軒、半壊等は調べていないのでわかりませんが、相当数に上ります。

ちなみに国道筋は、倒壊家屋が80%超え、うちマンションの全壊が2棟ありました。JRと山陽電鉄の線路は船のように曲がり、高架が崩れたため山陽電鉄の復旧は長期に渡りました。

また旧天野邸の日本家屋は全壊、対をなす洋館（現岩井邸。長く北山邸として親しまれていた）は尖塔が倒壊しました。

③ シオヤコレクション

イヴ・サンローランのスプリングコート

春先の羽織りものとしてうってつけのベージュのコート。丈も長く、きちんとした雰囲気にも、レトロポップにも着こなしていただけます。

モデルをつとめてくれた塩屋のあゆみさんがレシビを担当した新長田のB型作業所『よかくらぶ』さんのお菓子も2月半ばから販売開始予定。お楽しみに！

